



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 東京急行電鉄株式会社
 コード番号 9005 URL <http://www.tokyu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 野本 弘文
 問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計部 主計課長 (氏名) 小田 克
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3477-6168

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	797,213	3.4	54,092	13.1	52,419	13.0	44,187	56.0
25年3月期第3四半期	770,698	△3.2	47,828	△17.6	46,403	△20.3	28,321	△9.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 51,333百万円 (80.7%) 25年3月期第3四半期 28,402百万円 (△7.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	35.17	—
25年3月期第3四半期	22.57	22.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,002,089	544,258	25.8
25年3月期	1,964,476	499,545	24.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 517,101百万円 25年3月期 476,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,085,200	1.6	60,000	7.6	57,000	1.3	50,000	16.1	39.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,263,525,752 株	25年3月期	1,263,525,752 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	6,568,019 株	25年3月期	7,566,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,256,382,577 株	25年3月期3Q	1,254,626,289 株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

26年3月期第3四半期 :2,029,000株 25年3月期 :3,127,000株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2014年3月期 第3四半期 決算概況資料」は、本日(平成26年2月10日)、当社ホームページに掲載するとともに、TDnetで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

○同日開示資料

2014年3月期 第3四半期 決算概況資料

(注) 上記資料は、本日(平成26年2月10日)、当社ホームページに掲載するとともに、T D n e tで開示しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社(連結子会社を含む)は、将来の持続的成長に必要な収支構造の変革などを着実に図りながら、引き続き積極的な事業の推進と経営の効率化を進めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、当社の不動産事業が好調に推移したことなどにより、7,972億1千3百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は、540億9千2百万円(同13.1%増)となりました。経常利益は、持分法による投資利益が減少したものの、支払利息の減少などにより、524億1千9百万円(同13.0%増)、四半期純利益は、持分変動利益を計上したことや固定資産売却益が増加したことなどにより、441億8千7百万円(同56.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

① 交通事業

交通事業では、当社の鉄軌道業において、当第3四半期連結累計期間における輸送人員は、東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転効果などにより、定期で1.9%、定期外で0.9%増加し、全体でも1.5%の増加となりました。

この結果、営業収益は1,431億6百万円(同2.0%増)となったものの、当社の鉄軌道業において、相互直通運転開始に伴う経費が増加したことなどにより、営業利益は242億5千7百万円(同14.8%減)となりました。

(当社の鉄軌道業の営業成績)

種別		単位	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
			24. 4. 1～24. 12. 31	25. 4. 1～25. 12. 31
営業日数		日	275	275
営業キロ程		キロ	104.9	104.9
客車走行キロ		千キロ	105,395	108,106
輸送人員	定期外	千人	335,447	338,557
	定期	千人	486,998	496,391
	計	千人	822,445	834,948
旅客運輸収入	定期外	百万円	54,631	55,286
	定期	百万円	43,790	44,578
	計	百万円	98,421	99,864
運輸雑収		百万円	12,444	13,561
収入合計		百万円	110,865	113,425
一日平均旅客運輸収入		百万円	358	363
乗車効率		%	52.0	51.0

(注) 乗車効率の算出方法
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

② 不動産事業

不動産事業では、当社の不動産販売業において、大型集合住宅(マンション)の販売収入が増加したことや、当社の不動産賃貸業において、「武蔵小杉東急スクエア」の開業に伴う賃貸収入の増加や、「渋谷ヒカリエ」などの賃貸収入が堅調に推移したことなどにより、営業収益は1,434億9千5百万円(同36.6%増)、営業利益は225億2千4百万円(同75.0%増)となりました。

③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、ケーブルテレビ事業のイツツ・コミュニケーションズ(株)において、サービス利用料収入の増加があったものの、百貨店業の(株)東急百貨店において、東横店の一部閉館に伴い売場を縮小した影響などにより、営業収益は3,830億8千8百万円(同0.2%減)となりましたが、チェーンストア業の(株)東急ストアが好調に推移したことなどにより、営業利益は38億8百万円(同8.1%増)となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、ホテル業の(株)東急ホテルズにおいて、客室の稼働率とともに販売単価も増加し、営業収益は700億6千8百万円(同3.5%増)、営業利益は20億9千7百万円(同44.4%増)となりました。

⑤ ビジネスサポート事業

ビジネスサポート事業では、商社業の東急ジオックス(株)における前年同期に竣工した大型案件の反動減などにより、営業収益は1,134億9千8百万円(同9.9%減)となりましたが、鉄道車両関連事業の東急テクノシステム(株)において、利益率が改善したことなどもあり、営業利益は13億8千6百万円(同20.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、当社の土地の増加などにより、2兆20億8千9百万円(前期末比376億1千3百万円増)となりました。

(負債)

負債は、支払手形及び買掛金が増加したものの、有利子負債(※)が、9,810億1千1百万円(同185億5千5百万円減)となったことなどにより、1兆4,578億3千1百万円(同70億9千9百万円減)となりました。

(純資産)

純資産は、四半期純利益の計上などにより、5,442億5千8百万円(同447億1千3百万円増)となりました。

※ 有利子負債：借入金、社債の合計

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回発表時(平成25年11月11日公表)の予想を変更しておりません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,241	34,208
受取手形及び売掛金	101,830	113,333
商品及び製品	17,180	18,061
分譲土地建物	48,522	47,768
仕掛品	5,203	9,044
原材料及び貯蔵品	5,103	5,517
繰延税金資産	14,812	4,640
その他	34,475	28,399
貸倒引当金	△921	△776
流動資産合計	253,447	260,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	720,903	708,424
機械装置及び運搬具(純額)	59,834	56,347
土地	562,741	599,293
建設仮勘定	86,945	94,274
その他(純額)	19,925	19,769
有形固定資産合計	1,450,350	1,478,107
無形固定資産		
投資その他の資産	28,707	30,125
投資有価証券	119,449	130,673
繰延税金資産	20,209	17,579
その他	94,485	86,201
貸倒引当金	△2,173	△795
投資その他の資産合計	231,971	233,658
固定資産合計	1,711,028	1,741,892
資産合計	1,964,476	2,002,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	88,023	99,646
短期借入金	234,589	287,671
1年内償還予定の社債	24,800	43,000
未払法人税等	5,067	4,195
引当金	12,076	8,381
前受金	26,126	30,341
その他	95,271	96,280
流動負債合計	485,954	569,516
固定負債		
社債	223,138	207,138
長期借入金	517,039	443,202
退職給付引当金	27,437	28,183
その他の引当金	2,881	2,649
長期預り保証金	110,600	110,130
繰延税金負債	27,041	27,336
再評価に係る繰延税金負債	9,922	9,922
負ののれん	1,495	—
その他	35,439	35,222
固定負債合計	954,996	863,785
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	23,980	24,529
負債合計	1,464,930	1,457,831
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	140,497	140,804
利益剰余金	204,660	240,043
自己株式	△3,594	△3,231
株主資本合計	463,289	499,341
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,177	7,218
繰延ヘッジ損益	72	105
土地再評価差額金	9,392	9,364
為替換算調整勘定	△2,756	1,071
その他の包括利益累計額合計	12,885	17,759
少数株主持分	23,370	27,156
純資産合計	499,545	544,258
負債純資産合計	1,964,476	2,002,089

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	770,698	797,213
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	580,071	595,703
販売費及び一般管理費	142,798	147,416
営業費合計	722,869	743,120
営業利益	47,828	54,092
営業外収益		
受取利息	235	195
受取配当金	1,090	1,149
負ののれん償却額	2,582	2,581
持分法による投資利益	3,694	2,719
その他	3,570	3,400
営業外収益合計	11,173	10,046
営業外費用		
支払利息	10,583	10,000
その他	2,016	1,718
営業外費用合計	12,599	11,719
経常利益	46,403	52,419
特別利益		
固定資産売却益	57	5,937
工事負担金等受入額	1,156	782
特定都市鉄道整備準備金取崩額	1,420	1,420
持分変動利益	—	7,364
その他	878	473
特別利益合計	3,512	15,978
特別損失		
工事負担金等圧縮額	994	684
特定都市鉄道整備準備金繰入額	1,940	1,969
子会社株式売却損	2,258	—
その他	1,357	1,540
特別損失合計	6,551	4,194
税金等調整前四半期純利益	43,364	64,203
法人税等	14,127	19,275
少数株主損益調整前四半期純利益	29,236	44,927
少数株主利益	915	740
四半期純利益	28,321	44,187

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29,236	44,927
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,190	1,221
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△2,315	5,220
持分法適用会社に対する持分相当額	291	△36
その他の包括利益合計	△833	6,405
四半期包括利益	28,402	51,333
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,320	49,061
少数株主に係る四半期包括利益	82	2,271

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業	ビジネス サポート 事業			
営業収益								
外部顧客への営業収益	139,839	80,264	379,052	67,265	104,276	770,698	—	770,698
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	453	24,776	4,850	402	21,719	52,201	△52,201	—
計	140,292	105,041	383,903	67,667	125,995	822,899	△52,201	770,698
セグメント利益	28,460	12,873	3,523	1,452	1,152	47,462	366	47,828

(注) 1. セグメント利益の調整額366百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業	ビジネス サポート 事業			
営業収益								
外部顧客への営業収益	142,640	117,668	377,125	69,673	90,104	797,213	—	797,213
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	465	25,826	5,963	394	23,394	56,044	△56,044	—
計	143,106	143,495	383,088	70,068	113,498	853,257	△56,044	797,213
セグメント利益	24,257	22,524	3,808	2,097	1,386	54,073	19	54,092

(注) 1. セグメント利益の調整額19百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

○同日開示資料

2014年3月期 第3四半期 決算概況資料

上記資料は、本日(平成26年2月10日)、当社ホームページに掲載するとともに、T D n e tで開示しております。